



サムスカ導入・再開は、原則として入院が必要です。

V2-受容体拮抗剤「サムスカ」は、電解質排泄を促進せず、水利尿を促す利尿剤です。一方、サムスカ導入に際しては、急激な血清ナトリウム濃度の上昇による浸透圧性脱髄症候群をきたすおそれがあることから、**投与を開始又は再開する場合は「入院下」で導入し、血清ナトリウム濃度を測定**する必要があります。

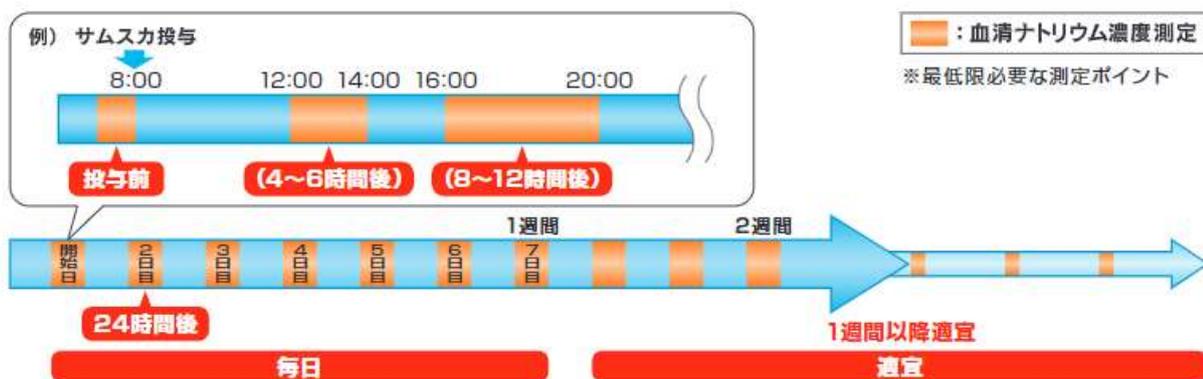
血清ナトリウム値測定タイミング

適応症により異なります。添付文書もしくは、「サムスカを処方する前にご確認ください」をご確認の上、ご使用ください。

心不全における体液貯留の場合

8. 重要な基本的注意

8.8 本剤投与開始後24時間以内に水利尿効果が強く発現するため、少なくとも**投与開始4～6時間後**並びに**8～12時間後**に血清ナトリウム濃度を測定すること。**投与開始翌日から1週間程度は毎日測定**し、その後も投与を継続する場合には、適宜測定すること。



注意)・血清ナトリウム濃度の上昇が1日(24時間)当たり12 mEq/Lを超えないように注意してください。必要に応じ、飲水量を増量させたり、輸液(5%ブドウ糖液)の投与をご検討ください。また、血清ナトリウム濃度が24時間以内に12 mEq/Lを超える上昇がみられた場合には、投与を中止してください。なお、可能な限り投与前、24時間後の血清ナトリウム濃度の測定をお願いします。

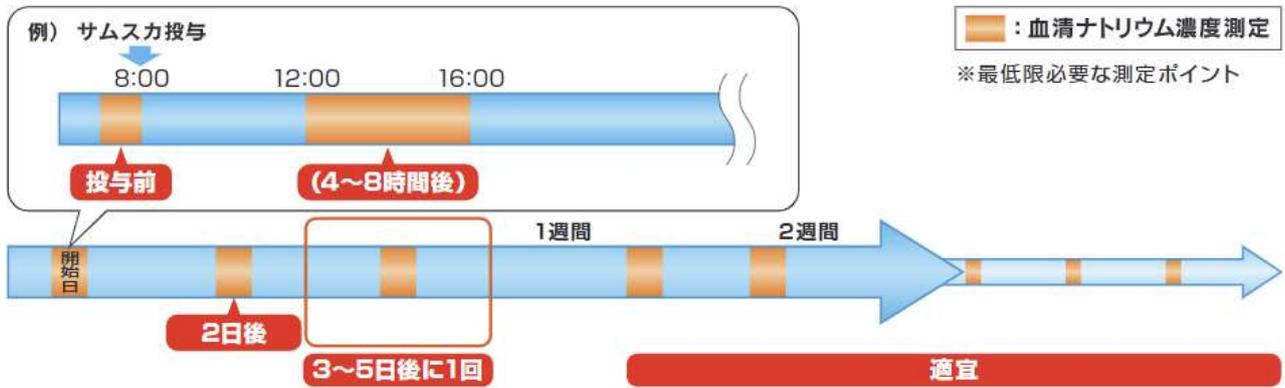
裏面に続きます



肝硬変における体液貯留の場合

8. 重要な基本的注意

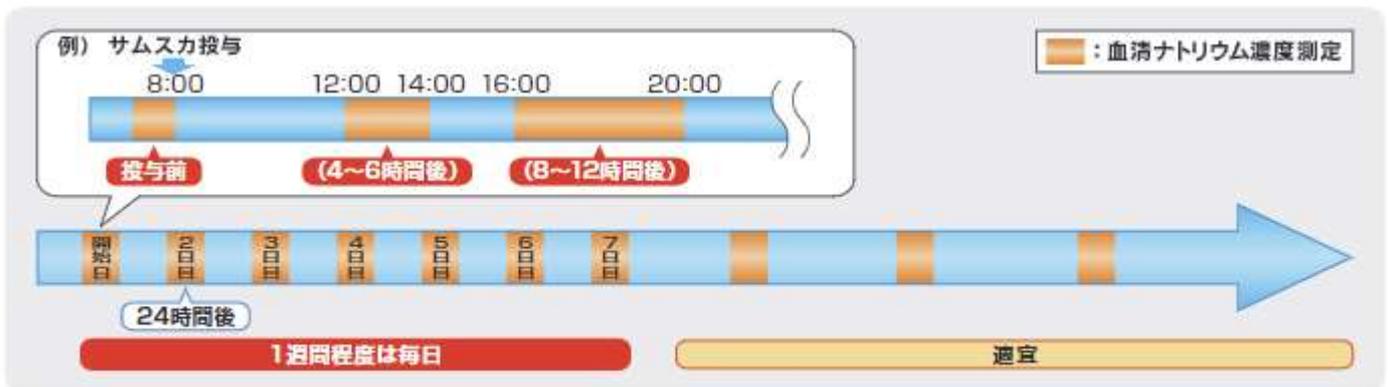
8.12 本剤投与開始後24時間以内に水利尿効果が強く発現するため、少なくとも**投与開始4～8時間後**に血清ナトリウム濃度を測定すること。さらに投与**開始2日後**並びに**3～5日後に1回測定**し、その後も投与を継続する場合には、適宜測定すること。



抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH)の場合

浸透圧性脱髄症候群への対策として、以下の点に注意してください。

- 本剤投与開始又は増量後24時間以内に水利尿効果が強く発現するため、少なくとも**投与開始又は増量4～6時間後並びに8～12時間後に血清ナトリウム濃度を測定**してください。投与開始又は増量翌日から血清ナトリウム濃度が安定するまでの**1週間程度は毎日測定**し、その後も投与を継続する場合には、適宜測定してください。



常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)の場合は、添付文書をご確認ください。